

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 半年ぶりの県民大行動に 880 人が結集



参院選、  
知事選の勝利が  
新基地中止の鍵

写真上は、「頑張ろう三唱」する伊波氏(中央)ら。テント内と国道の両側の歩道は県民で埋まりました。

辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議は4日、キャンプ・シュワブゲート前でほぼ半年ぶりに「県民大行動」を行い県民880人が参加しました。糸数慶子共同代表が「政府は沖縄の民意を切り捨てている」と抗議。デニー知事が「辺野古新基地建設に反対する県民の強い意思がある限り絶対に新基地は実現しない。一緒に頑張ろう」とメッセージを寄せました。参院選で再選をめざす伊波洋一参院議員は「デニー県政が続く限り埋め立てすることはできない。そのためにも参院選で私を勝利させてほしい」と訴えました。沖縄大学の桜井国俊名誉教授と高良沙哉教授が新基地建設に伴う自公政権の横暴を告発しました。県議会と与党会派を代表し、渡久地修県議団長が「核共有となれば辺野古弾薬庫が攻撃対象となる。止めるのは県民のたたかいだ」と訴えました。赤嶺政賢衆院議員、高良鉄美参院議員も参加しました。

## 「安和棧橋、塩川港大行動」に県民多数が参加



安和棧橋の入口で数十人が抗議↑6日午前9時半ころ

「私たちは負けない、諦めない」—安和棧橋、塩川港からの土砂搬出を止めようと、6日から8日まで「安和棧橋、塩川港大行動」が、同実行委員会(共同代表・稲嶺進氏など)の呼びかけで行われています。6日は、海が荒れたため塩川港での運搬船への搬出は中止となりましたが、安和棧橋には運搬船へ積み込みがおこなわれました。同棧橋の入り口では、国道の上下線と正面の琉球セメント方面の3方向からダンプカーが棧橋に入ろうとします。その前で、県民数十人がのぼりやパネルを掲げて牛歩戦術を行っています。国道にはダンプカーが20台以上も数珠つなぎで待機せざるをえない状況でした。

実行委員会の原田みき子事務局長(73)は「私たちがここで頑張ることで土砂の搬出を大幅に遅らせることができます。私たちは決してあきらめません。諦めたら終わりですから」と安和・塩川での抗議行動に多くの県民の参加を呼びかけています

## 名古屋高裁の勝訴判決など連帯が広がる 高江住民の会が座り込み15年集会に170人

東村高江のヘリパッド建設に反対する座り込み15年の報告集会が5日、東村内で開かれ170人が参加しました。集会では高江に機動隊を派遣した6都府県と沖縄の住民監査請求と派遣の違法性を問う訴訟の現状が報告されました。愛知県代表が「逆転勝利しました!」と報告すると会場から拍手が沸き起こりました。最後に、参加者全員で頑張ろう三唱をしました(写真)。



### 名護市住民訴訟の口頭弁論開く

名護市の消防庁舎跡地の売却を巡り、適法な議会承認手続きを経ずに市に損害を与えたとして市民15人が渡具知武豊市長らに約1億3千万円の支払いなどを求めた住民訴訟の第1回口頭弁論が2日、那覇地裁(福渡裕貴裁判長)で行われました。原告の宮城聡さん(写真)は「他より1億3千万円もの安値で市長の親族が役員を務める企業グループに転売された事実



は到底見過ごせない」と訴えました。次回公判は8月25日。